

3
月
号

ふじの

REPORT

奈良県議会議員 ふじの良次

県政
レポート

Vol.

139

2024年
3月号



知事に手わたす!

“広域防災拠点に関する提言”

奈良県の防災力の強化に向け!

2月26日開会の「定例県議会」は、総額5千439億8千200万円の令和6年度当初予算案及び総額61億355万9千円の令和5年度2月補正予算案等の議案の審議・審査を行い、3月25日に閉会予定となっています。

さて、昨年6月、県の大型事業の見直しを進めていた山下知事は、そのうち、15項目の事業について予算の全て、または一部の執行を中止すると発表されました。その後、国民スポーツ大会に向けた整備や大和平野中央田園都市構想に係る用地の活用など、それぞれ変更後の姿や動きが見え始めてきました。

その中において、今後の行方が注目されているのが五條市に立地予定であった「大規模広域防災拠点事業」です。

昨年、全面中止となった事業ですが、私が委員長を務めています「総合防災対策特別委員会」では、防災力の強化への取り組みは喫緊の課題であるとした共通認識を持ちながら、今後、発生が予想されている南海トラフ巨大地震や奈良盆地東縁断層帯への備えを始め、気候変動の影響により激甚化・頻発化している気象災害など大規模な災害に備えるため、五條市内の大規模広域防災拠点整備の必要性や、他の県内8カ所の広域防災拠点に対する機能強化などの議論を深めてきました。また、現地調査も積極的に行うとともに、現場で見聞きした課題に対する取り組みを県行政に求めてまいりました。しかし、1月24日の知事記者会見で山下知事は、県立橿原公苑を

“中核的広域防災拠点”として活用し、五條市の県有地については、25%の太陽光発電施設、1%の防災ヘリポート・備蓄倉庫に変更する計画を発表されました。大規模広域防災拠点整備の予定地のほとんどが、太陽光発電のために活用されることに違和感を覚えるとともに、早速、特別委員会を開催し、五條市の県有地を活用した防災機能強化に向けた取り組みや、地元地権者等の意向も踏まえ丁寧な説明を行うこと。本県の防災力を高めるため、引き続き議会との議論を深めていくことなどを取りまとめた「広域防災拠点に関する提言」を山下知事に手わたしました。引き続き、奈良県の防災力の強化に向けた特別委員会の活動に精励してまいります。

ふじの良次ホームページ

<http://www.y-fujino.jp/>

【代表・一般質問】や【委員会質問】などの議会報告や活動報告を定期的に更新しています。また、ご意見をメールにて受付いたしております。



ふじの良次 政務活動事務所

大和郡山市筒井町673-3

TEL 59-5155 FAX 59-5158

・近鉄筒井駅下車、北へ徒歩2分

・事務所、西向かいに駐車場があります

ヤングケアラーをご存じですか？

ヤングケアラーとは？

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。



ヤングケアラーが直面する問題

こどもたちにこのような影響が出る場合があります。

● 学業への影響

遅刻・早退・欠席が増える、勉強の時間が取れない等

● 就職への影響

自分にできると思う仕事の範囲を狭めて考えてしまう、自分のやってきたことをアピールできない等

● 友人関係への影響

友人等とコミュニケーションを取れる時間が少ない等

県では「ヤングケアラー支援室」を設置するとともに、ヤングケアラー認知向上・学校対応力向上に向けた取組がおこなわれています。大和郡山市では、「大和郡山市ケアラー支援条例」が令和5年2月24日に公布、令和5年4月1日に施行され、ヤングケアラーに対する具体的な支援を実施しています。

ヤングケアラーかも、と思ったあなたへ

学校生活に影響が出たり、こころやからだに不調を感じるほどの重い負荷がかかっている場合は、すこし注意が必要です。辛いときは、学校の先生・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・親戚の人など信頼できるまわりの大人に、頼ることが大事です。いろいろな相談場所があるので、勇気を持って話してください。



『相談窓口を探す』



こども家庭庁のこども向けホーム

奈良県立図書情報館 さくらマルシェ

2024年4月6[土] 7[日] 10:00~16:00

奈良市法蓮町の下長慶橋から同市杏町の和郡山市境までの区間約5キロの両岸には、ソメイヨシノ約1000本の桜並木が続いています。佐保川沿いに位置する図書情報館では、美しい景観と、もっと情報館に親しみを持っていただきたいとの思いから「さくらマルシェ」が開催されます。(雨天決行)そして今回は4/6(土)に「十津川村春のぼんおどり大会」を開催。十津川村の平谷(ひらだに)から「平谷餅搗き(もちつき)踊り保存会」が登場します。

さくらマルシェに登場するお店などの情報は公式Instagramで。



nara_prefectural_library



編集スタッフつぶやき

大和川一斉清掃

大和川の清流復活を目指して、県内大和川流域市町村の各地域において、一斉清掃を毎年、3月第1日曜日に、大阪府と同日で実施。



